

梅窓院通信

施餓鬼号

No. 94

2018/04/01

青山



昨年の大施餓鬼会法要で塔婆回向する中島住職。左下は開山忌法要後の能楽奉納。



住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島真成

平成という年号も残すところあと一年となりました。さて、次の年号がどのような名称になるのでしょうか、待ち遠しいですね。

毎年恒例の梅窓院団体参拝ですが、参加される檀信徒さんが毎年減っていることもあり、今年からは小石川・傳通院さんとの合同参拝にすることに致しました。二泊三日で出雲へ参ります。出雲大社はもちろん、足立美術館などの観光名所も回る参拝になります。島根、鳥取は少々遠いところですが、ご興味のある方も多いかと思しますので、この機会にぜひ一緒下さい。

さて、六月の梅窓院の開山忌法要と能楽奉納では毎年、多くの方にお参りいただいておりますが、今年から法要の前に、短い時間ですが写経を行うことに致します。写経の意義については本紙中面の「開山忌によせて」をご覧ください。

その「開山忌によせて」の原稿を担当したのが、私の息子です。昨年末に増上寺で浄土宗僧侶になる為の最後の道場を無事終わらせ、浄土宗僧侶となって法務部に勤めております。まだまだこれからの新米僧侶ですので、よろしくお願い致します。

お施餓鬼

五月十九日(土)

附施餓鬼法要(塔婆回向・別時念仏・半齋供養)

午前十一時～十二時十五分 本堂

お齋(お食事を頂きます)

午後十二時二十分～ 観音堂

御説教

午後一時～ 祖師堂

講師 京都 宇治 平等院住職 神居文彰上人

大施餓鬼会法要

午後二時～ 祖師堂

- ・長時間にわたる法要の為、途中からの参加も可能です。
- ・塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前十時からの法要で行います。
- ・全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。
- ・場所は変更となる可能性もございます。

施餓鬼によせて

施餓鬼とは、餓鬼に(飲食を)施すことです。が、そもそも餓鬼とは何でしょうか。餓鬼とは食に餓えた死者の霊のことです。中国で死者の霊を鬼と呼んだことから、インド発祥の仏教が中国に伝わる際に、インドの古い言葉「プレータ」を翻訳して生まれたのが餓鬼という言葉です。プレータとは、亡くなってから祖霊になるまでの飲食の供養が必要なたま霊を意味していたようです。仏教ではこれが、生前に物惜しみして他人に施しをしなかった人などがその業の報いとして、来世で餓鬼に生まれるとされました。



阿難尊者と餓鬼の図。

ではなぜその餓鬼を供養するのかと申しますと、昔、阿難尊者というお釈迦様のお弟子が一人で修行していると、喉が針のように細く口からは焰を吐き痩せ細った恐ろしい姿の餓鬼が現れて阿難尊者にこう告げます。「全世界の餓鬼全てに飲食を供養しなければ、お前の命は三日後

に尽きて、餓鬼道に落ちるだろう」と。驚いた阿難尊者はすぐにお釈迦様に相談に行きました。するとお釈迦様は変食陀羅尼(物を変化させる呪文の一種)によって、少量の供物を無限大に變じて、無数の餓鬼全てに供養する法を説かれました。これに従って、法会を修したところ、餓鬼達は飽満して、阿難尊者はその功德によって延命長寿したということです。

この功德をご先祖様や故人様、無縁の諸精霊へと回し向け(回向)、供養するのが施餓鬼会の意義です。

ところで、お念仏だけで救われる浄土宗の私達が何故こうして、施餓鬼会を執り行うのでしょうか。それは浄土宗徒である前に、仏教徒として、分け隔てない慈悲の心を持つべきだからです。どうか皆様も分け隔てない気持ちで一緒に念仏をお称えし、有縁の故人様からご先祖様、無縁の餓鬼に至るまで手を合わせて供養致しましょう。それが何より尊いことなのです。

(法務部/中島真紹)

回向のお申込み方法とお知らせ

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆

御回向料 …… 1本/1万円

- ・同封のハガキにご記入の上4月30日(月)必着でお申込み下さい。
- ・当日の法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いはできません。)

「せがき子どもひろば」のご案内

お施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。職員による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒に御参り下さい。



子どもひろばの様子

※子どもひろばに関するお問い合わせは青山文化村まで。TEL 03-3404-8588

開山忌法要

六月九日(土)

梅窓院を開かれた南龍上人のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。また、法要後に能楽を奉納します。なお、能楽からのご鑑賞は行っておりませんので、法要からのご参列をお願い申し上げます。

法要・能楽ともに一般の方もご参列、ご観賞いただけます。入場無料ですので、御家族・お友達をお誘い合わせの上お越し下さい。今年度より、法要前に写経を行うことに致しました。詳しくは四面をご覧ください。

写経 — 午後二時 — 法堂

※事前にお申込みが必要です。

法要 — 午後三時 — 本堂

※法要終了後、休憩がございます。

能楽奉納 — 午後四時 — 祖師堂 演目 半能「熊坂」(予定)



能楽演者の
プロフィール

橋本 忠樹
(はしもと ただき)

東京藝術大学音楽学部卒。重要無形文化財総合認定保持者。観世流シテ方橋本磯道長男。父及び故片山幽雪、片山九郎右衛門に師事。3歳で初舞台。大学在学時には、観世流26世宗家 観世清和、故藤波重満、野村四郎、各師に師事。大学卒業と共に片山幽雪師の許で内弟子修行を積み2001年独立。独立後は、若者に能楽の魅力を伝える新たな試みに挑戦し、他ジャンルとの共演、お寺・神社やバーでの能公演など、若者が気軽に能や日本の古典に触れられる機会を企画し公演を行っている。海外にても公演し、チュニジア国では初の能公演、その後もドイツ、アメリカ、フランスでの公演に参加している。また、実際に謡・仕舞を教え、伝える事にも熱心で、京都・東京での稽古活動の他、「小さな子供のお稽古教室」も開き、幼少から日本の伝統文化である「能」に触れることによって「本物」を見極める目を養う機会を提供している。

(公社)能楽協会会員・(公社)京都観世会会員・大正大学客員教授
京都市DO YOU KYOTO?大使

開山忌によせて

お寺をお開きになった上人を開山上人と申しますが、その開山上人の忌日法要が開山忌です。梅窓院は江戸時代の初め頃一六四三年に青山家の菩提寺として南龍上人によって創建されました。ちなみに現在のご住職は第二十五世になります。

本年の開山忌法要から写経を併せてお勤めすることに致します。写経とは經典を書写することでご自身の善根功德としたり、ご先祖様等へ回向して追善供養を目的とする仏道修行のひとつです。

しかしながら、お念仏を唯一の修行とする浄土宗の私たちが写経する意義とは何でしょうか。浄土宗宗祖法然上人のお言葉をご法語といいますが、そのご法語の中で次のようにお示しです。現代語訳で紹介致します。

「この世の過ごし方は念仏を称えやすいようにして過ごすべきです。(中略)自身が平穩無事で念仏往生を遂げるためには、何事もすべて念仏の助けであります。」

心をお念仏に向けるための助けとして、浄土經典や仏典と同じように扱っている善導大師や法然上人のお書物を書写していただくことは大変素晴らしいことなのです。

今回は法然上人御作で宗歌でもある月かげのご詠歌をご希望の皆様と

写経致します。このご詠歌は浄土三部經の『観無量寿經』の「(如来の)光明は十方の世界を照らして念仏の衆生を撰取して捨て給わず」の心を詠まれています。『続千載和歌集』に入撰しております。

月影の 至らぬ里は 無けれども
眺むる人の 心にぞすむ

意訳 月の光の届かない里はないけれども、それを眺める人の心の中にだけ月は澄んで(住んで)います。阿弥陀様の慈悲の光明も月の光のように全ての人々を遍く照らしてください。けれども、それに気がつき、お念仏をお称えした人は阿弥陀様のお救いにあずかり、極楽浄土へと迎え取っていただけるのです。

阿弥陀様の慈悲に感謝しながら、皆様で写経致しましょう。

(法務部/中島真紹)

二月の行事報告

第七十三回 念仏と法話の会 二月五日(月)

行事予定

増上寺御忌大会

4月2日(月)～7日(土)

大本山増上寺で、4月2日～7日までの6日間浄土宗の宗祖法然上人の御徳をたたえ、その御徳に感謝する特別な法要が行われます。4月3日、4日には詠唱大会が開かれ、北海道から静岡までの詠唱会が大殿(本堂)で奉納します。4日に梅窓院の詠唱会も奉納しますので、皆様お運び下さい。



昨年の増上寺大殿での詠唱奉納の様子

はなまつり

4月6日(金)～8日(日)

寺院棟2階 本堂

寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。

施餓鬼会法要

5月19日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

団体参拝旅行

—出雲大社と大山寺 水の都松江を巡る旅—

5月28日(月)～30日(水)

今年の梅窓院団体参拝は、小石川傳通院との合同で行うことになりました。2泊3日で、島根・松江を巡ります。ご希望の方はご案内をお送りしますので、お気軽にお問合わせ下さい。



出雲大社

開山忌法要・能楽奉納

6月9日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

第74回 念仏と法話の会

6月19日(火)

法話:いのちの仕掛を考える

講師:京都 宇治 平等院 神居 文彰上人

※詳細はチラシをご覧ください。

写経 のご案内



今年の開山忌法要から、写経奉納を行うことになりました。

仏教では、経を読めば功德を積むことができ、経を書き写すことさらに功德があるとされています。そのため、写経は古くから徳を積むための行為としても行われてきました。

事前に写経の心得などを説明致しますので、初めての方でもお気軽に写経を体験することができます。是非この機会にお越し下さい。

皆様のお越しを心からお待ち致しております。

開催日:平成30年6月9日(土)

時間:14時～14時半(受付開始13時半)

会場:4階 法堂

奉納料:1,000円(事前申込制・先着24名)

※奉納料は当日、会場受付にてお納め下さい。

※筆記具(筆ペン)と写経用紙はお寺で用意しております。

行程	法要
	写経説明
	写経 浄土宗の宗歌『月かげ』
	奉納

参加ご希望の方は、下記問合わせ先へお電話・FAX・Eメールにて5月26日(土)までにお申込み下さい。

お問合せ・お申込み

梅窓院 青山文化村

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38

TEL 03-3404-8588/FAX 03-3404-8436

E-mail/bunkamura@baisouin.or.jp

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

樹々は青々として色々な花も咲いて春を感じています……。が、なかなか花の名前を覚えられません。それなのに新しくできた樹木葬墓地の梅林苑を見ると、数種類の梅の木が植わっているではありませんか。ご丁寧に名札までつけて植えられています。お檀家様にお声がけいただくのはとても嬉しいのですが「あの梅の木は何て言う名前？」と聞かれたときは「梅に梅以外の名前があるなんて……」と泣きたくなりました。私の顔を見かけたら花の名前を教えてくださいるのは良いけれども聞かないで下さいね(笑)。

墓苑部一同、皆様の色々なご希望に沿うよう心を込めてお手伝いさせていただきます。これからもご紹介お待ちしております。ご意見もぜひお聞かせ下さい。(墓苑部:森)

お檀家さんに伺いました

『家族揃っての修正会』

(平成30年修正会にて)

修正会は家族・親戚が集まる良い機会なので、毎年参加しています。法要後に皆でお雑煮とおせちをいただけるのも楽しみの一つです。父の月命日が20日なので、13年間かさず梅窓院にお墓参りにきています。これはわたしの自慢です(笑)。墓地はいつも綺麗に整備されていてお参りしやすいです。

発行/梅窓院 発行日/平成30年4月1日 発行人/中島 真成 編集/青山文化村

住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38 電話/03-3404-8447

FAX/03-3404-8436 ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/ E-Mail/jodo@baisouin.or.jp

題字/中村康隆元浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡